



コミュニティ・スクール(CS)だより 第5号

○ボランティアのみなさんのおかげで充実した昔遊びに！

1月27日、29日は室内で一年生が「生活」の時間に「おはじき」「めんこ」「お手玉」「こま回し」「けんだま」「あやとり」「ビー玉」の昔遊びをしました。2月3日には運動場で「たこ揚げ」をしました。いずれの日も多くのボランティアの皆様が昔遊びの支援のために駆けつけてくださいました。遊びの場面では子どもたちに優しくうまくできるコツを教えてくださいたり見本を示して教えてくださいたりしました。そのおかげもあり子どもたちが「できた！」とうれしそうな表情で声を上げる場面がそこかしこに見られました。ボランティアの皆様からも子どもたちとの活動は「楽しかった」との声が聞かれました。

子どもたちの学習が深まり、地域の方々とのふれあいが生まれた意義ある時間となりました。ボランティアの皆様には心より感謝申し上げます。



○図書ボランティアのみなさんのお話会（読み聞かせ）



コロナの影響でしばらくの間中断していた図書ボランティアさんの「お話会」（読み聞かせ）今年度より再開されました。

子どもたちもお話会を楽しみにしていて、多くの子どもたちが参加し、食い入るように読み聞かせに聞き入っていました。

【第5回学校運営協議会の概要について】

■日 時 2025. 1. 21 (火) 19:00～20:15

■場 所 校長室

■参加者 学校運営協議会委員 8名 学校職員 4名 井上社会教育指導員 計12名

- 1 はじめに（校長） あいさつ
- 2 後期学校評価（教育に関するアンケートのまとめ）について

◎主な意見

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」に対する意識が高まっている。原因は何か→「保健だより」長期休みの「カレンダー」がよかったのでは。
- ・地域や保護者の学校に対する関心が高いと感じる。父親の参観が多いことに感心した。→子どもたちが学校の話す機会が増えることで「学校へ行ってみよう」という意識が高まっているのではないか。
- ・保護者・地域の声を吸いあげる仕組みも考えてはどうか。
- ・現在社会では学校からの情報は紙媒体より SNS による方が目にする機会は多くなる。→SNS の有効活用が今後必要。
- ・「学校に楽しく行けている」児童が多いのはとてもよいことだ。
- ・子どもの学習についての考え方に保護者とのギャップがある。→「学習の状況」「学力」についてはさらに分析する必要がある。
- ・あいさつについては家庭の教育力がかぎとなる。「ありがとう」という言葉をキーワードに取り組むことも一案である。
- ・あいさつは他校と比較するとよくできている。地域の「強み」「伝統」として継承すべき。
- ・全国的な学校現場の状況から地域でしっかりサポートしていく必要がある。
- ・子どもの「姿勢」に着目した取り組みもあってもいいのではないか。

- 3 おわりに（田中会長）